

II 事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

農業集落排水は農業集落における農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持または農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の保全に寄与するものです。

本事業は平成8年から平成12年度までの間に旧安曇村で供用を開始し、市町村合併を経て松本市産業振興部に事業が継承されました。処理区域は安曇地区のうち大野田、島々、橋場及び稲核地区で、令和6年4月1日から地方公営企業法の全部適用に併せ上下水道局に事業が移管され、事業区域内における水洗化率は98.3%となっています。

また、経年劣化による施設の老朽化が進んでいたため、令和元年度から各地区の処理施設の改築工事を進めており、令和7年度ですべての工事が完了し、令和8年度以降は定期的な修繕等による維持管理を行っていく予定です。

事業経営にあたっては、令和7年度に中長期的な経営の基本計画である、農業集落排水事業経営戦略の見直しに着手し、今後の事業経営の方向性を検討します。

収支面では、過疎化による使用者の減少に伴い使用料収入が減少しております。

また、事業移管以前から一般会計繰入金によって収支を均衡させており、不安定な経営状況であると言えます。

令和6年度決算は、令和7年2月から3月まで国の臨時交付金を活用し、農業集落排水使用料負担軽減事業を実施したことによる使用料の減収のほか、高騰が続く電気料及び修繕・委託料等維持管理費の影響で営業損失を計上したものの、他会計補助金、長期前受金戻入及び企業債利息等を含めた当年度の損益は、黒字決算となりました。

今後は経営戦略の見直し等を踏まえ、長期的な展望のもと経営改善に努めてまいります。

なお、当年度の概況は下記のとおりです。

ア 普及状況等

(ア) 普及率等

項 目	令和6年度 (a)	令和5年度 (b)	増 減 数 (a)-(b)=(c)	増減率 (%) (c)/(b)×100
行政区域内人口 (人)	601	620	△ 19	△ 3.1
処理区域内人口 (人)	587	620	△ 33	△ 5.3
普 及 率 (%)	97.7	100.0	△ 2.3	—
水 洗 化 人 口 (人)	577	620	△ 43	△ 6.9
水 洗 化 率 (%)	98.3	100.0	△ 1.7	—

※行政区域内人口は安曇地区のうち大野田、島々、橋場、稲核地区の人口計

(イ) 処理水量等

項 目	令和 6 年度 (a)	令和 5 年度 (b)	増 減 数 (a) - (b) = (c)	増減率 (%) (c) / (b) × 100
年間総処理水量 (m ³)	55,719	57,996	△ 2,277	△ 3.9
日平均処理水量 (m ³)	153	159	△ 6	△ 3.8
日最大処理水量 (m ³)	350	335	15	4.5
年間有収水量 (m ³)	55,719	57,412	△ 1,693	△ 2.9
有 収 率 (%)	100.0	99.0	1.0	—

イ 収益的収支の状況（消費税及び地方消費税を除く）

※地方公営企業法適用後の状況のため、前年度比較はすべて皆増となります。

(ア) 農業集落排水事業収益

総額は、69,896,338円となりました。

主なものは、長期前受金戻入36,354,078円、他会計補助金18,958,836円、農業集落排水使用料10,358,103円等です。

(イ) 農業集落排水事業費用

総額は、68,682,668円となりました。

主なものは、減価償却費35,758,557円、農業集落排水処理場費18,376,698円等です。

(ウ) 当年度純利益と未処分利益剰余金の処分

以上の結果、当年度純利益は1,213,670円となりました。

また、当年度末未処分利益剰余金は1,213,670円となりました。

この当年度末未処分利益剰余金は、未処分のまま翌年度へ繰り越す予定です。

ウ 資本的収支の状況（消費税及び地方消費税を含む）

※地方公営企業法適用後の状況のため、前年度比較はすべて皆増となります。

(ア) 資本的収入

総額は、63,605,394円となりました。

内訳は、一般会計負担金25,105,394円、企業債38,500,000円です。

(イ) 資本的支出

総額は63,605,394円となりました。

内訳は、建設改良費38,500,000円、企業債償還金25,105,394円です。

(ウ) 資本的収支不足額の補てん

資本的支出に対して、資本的収入の不足が発生しませんでした。

エ 消費税及び地方消費税予定還付額

当年度予定還付税額は2,381,599円で、内訳は下記のとおりです。

項 目	合 計 額	内 訳	
		収益的収支	資本的収支
仮受消費税及び地方消費税額 (a)	円 1,035,807	円 1,035,807	円 0
仮払消費税及び地方消費税額 (b)	5,617,197	2,117,197	3,500,000
控 除 対 象 外 仮 払 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 額 (c)	2,199,791	1,176,322	1,023,469
予定還付税額 (a)-((b)-(c))	2,381,599		

オ 建設改良工事の状況

建設改良工事費の総額は、38,500,000円でした。

工事の内容は次のとおりです。

主要な 財 源	工 事 の 種 類	工 事 費			
		令和6年度 (a)	令和5年度 (b)	増 減 額 (a)-(b)=(c)	増減率 (c)/(b)×100
企業債	単独処理場改良事業費	円 38,500,000	円 —	円 —	皆増
合 計		38,500,000	—	—	皆増

カ 事務事業の見直し

該当なし

(2) 経営指標に関する事項

令和6年度決算における経営成績について、経常収支比率は94.6%で、単年度収支が赤字であることを示す100%以下となっており、経営が不安定であることを示しています。

経費回収率は34.4%で100%を大きく下回っており、汚水処理に係る費用を農業集落排水使用料で賄えていないことを表しています。令和6年度は、地方創生臨時交付金を活用したことによる使用料収入の減に加え、使用料収益を上回る汚水処理費用が経費回収率の低い大きな要因です。

一方、資産の老朽化度合いを示す有形固定資産減価償却率は3.5%、管路の老朽度合いを示す管路経年化率は0%と、固定資産は良好な状態であることを示しています。また、法定耐用年数を経過した管路が存在しないため、管路更新率も0%となっています。

使用料収益は今後も減少が見込まれるため、収支の改善に努めます。

〈経営指標の推移〉

(%)

指 標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常収支比率	—	—	—	—	94.6
流動比率	—	—	—	—	39.4
経費回収率	—	—	—	—	34.4
有形固定資産減価償却率	—	—	—	—	3.5
管路経年化率	—	—	—	—	0.0
管路更新率	—	—	—	—	0.0

※農業集落排水使用料負担軽減事業（令和7年2月から年3月まで基本使用料を一定額減額）を実施

※地方公営企業法適用前のため、令和5年度以前の経営指標は算出しておりません。

(3) 議会の議決事項

提出年月日	議決年月日	件 名	備 考
R 7 . 2 . 18	R 7 . 3 . 17	令和6年度松本市農業集落排水事業会計補正予算（第2号）	
		令和7年度松本市農業集落排水事業会計予算	
		令和6年度松本市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）	報 告

(4) 行政官庁許認可事項

該当なし

(5) 職員に関する事項

令和6年度松本市水道事業会計決算書に同じ

(6) 料金その他供給条件の設定、変更に関する事項

該当なし

2 工 事

(1) 改良工事の概況

ア 単独改良工事

(ア) 農業集落排水処理場施設単独改良工事

工 事 件 数 1 件

工 事 費 37,400,000 円

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着工 竣工 年月日	備 考
令和6年度 稲核地区農業集落排水処理施設 機能強化工事	・防食塗装 一式 ・機械撤去据付工 一式 ・電気設備工 一式	円 37,400,000	R 6 . 6 . 12	
			R 7 . 2 . 13	

(2) 保存（維持管理）工事の概況

ア 処理場工事

工 事 件 数 3 件

工 事 費 764,500 円

工 事 名	工 事 内 容	工 事 費	着工 竣工 年月日	備 考
100万円未満工事 3 件	・舗装補修 3 カ所	円 764,500		

3 業 務

(1) 業 務 量

項 目	令和6年度	令和5年度	比 較	
			増 減	比 率
行政区域内人口 (人)	601	620	△ 19	% △ 3.1
処理区域内人口 (人)	587	620	△ 33	△ 5.3
普 及 率 (%)	97.7	100.0	△ 2.3	—
水洗化人口 (人)	577	620	△ 43	△ 6.9
水洗化率 (%)	98.3	100.0	△ 1.7	—
整備面積 (ha)	21	21	0	0.0
管路延長 (m)	7,465	7,465	0	0.0
年間総処理水量 (m³)	55,719	57,996	△ 2,277	△ 3.9
年間有収水量 (m³)	55,719	57,412	△ 1,693	△ 2.9
有 収 率 (%)	100.0	99.0	1.0	—
処 理 能 力 (m³/日)	538	538	0	0.0
日平均処理水量 (m³/日)	153	159	△ 6	△ 3.8
日最大処理水量 (m³/日)	350	335	15	4.5
日最小処理水量 (m³/日)	109	106	3	2.8

(2) 事業収入に関する事項

科 目	金 額	構成比	前年度金額	前年度比	備 考
	円	%	円	%	
農業集落排水事業収益	69,896,338	100.0	—	皆増	有収水量 1 m ³ 当たりの 農業集落排水使用料 185円90銭
営 業 収 益	10,365,103	14.8	—	皆増	
農業集落排水使用料	10,358,103	14.8	—	皆増	
そ の 他 営 業 収 益	7,000	0.0	—	皆増	
営 業 外 収 益	55,371,274	79.2	—	皆増	
受取利息及び配当金	0	0.0	—	0.0	
他 会 計 補 助 金	18,958,836	27.1	—	皆増	
長 期 前 受 金 戻 入	36,354,078	52.0	—	皆増	
そ の 他 雑 収 益	58,360	0.1	—	皆増	
特 別 利 益	4,159,961	6.0	—	皆増	
そ の 他 特 別 利 益	4,159,961	6.0	—	皆増	

(3) 事業費に関する事項

科 目	金 額	構成比	前年度金額	前年度比	備 考
	円	%	円	%	
農業集落排水事業費用	68,682,668	100.0	—	皆増	有収水量 1 m ³ 当たりの 污水处理原価 540円23銭
営 業 費 用	64,383,056	93.6	—	皆増	
農業集落排水処理場費	18,376,698	26.8	—	皆増	
小規模集合排水処理場費	393,542	0.6	—	皆増	
業 務 費	2,711,311	3.9	—	皆増	
総 係 費	6,338,084	9.2	—	皆増	
減 価 償 却 費	35,758,557	52.1	—	皆増	
資 産 減 耗 費	804,864	1.2	—	皆増	
営 業 外 費 用	3,999,621	6.0	—	皆増	
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	2,823,299	4.2	—	皆増	
雑 支 出	1,176,322	1.8	—	皆増	
特 別 損 失	299,991	0.4	—	皆増	
そ の 他 特 別 損 失	299,991	0.4	—	皆増	

(4) その他主要な事項

該当なし

4 会 計

(1) 重要契約の要旨

該当なし

(2) 企業債同意額及び借入状況

ア 令和6年度企業債の借入状況は次のとおりです。

(ア) 建設企業債

a 企業債同意及び借入状況

事業名	同 意 額	同意年月日	借入先及び借入金額	借入年月日	備 考
農業集落排水事業	千円 19,300	R 6 . 9 . 30 6 市町村第536号	地方公共団体金融機構 19,300千円	R 7 . 3 . 24	不用額 0千円
過疎対策事業	千円 19,300	R 7 . 3 . 21 6 市町村第1005号	財務省財政融資資金 19,200千円	R 7 . 3 . 25	不用額 100千円

b 借入条件

借 入 先	利 率	償 還 方 法	償還期日	償還終期	備 考
財 務 省 財 政 融 資 資 金	1.20%	半年賦元金均等 10年償還 (内1年据置)	毎年9月1日 3月1日	R17. 3 . 1	借入額 19,200千円
地方公共団体金融機構	2.10%	半年賦元利均等 30年償還 (内5年据置)	毎年9月20日 3月20日	R37. 3 . 20	借入額 19,300千円

イ 令和6年度の企業債償還状況は次のとおりです。

借 入 先	借 入 総件数	償 還 元 金		支 払 利 息		合 計
		該当件数	金 額	該当件数	金 額	
財 務 省 財 政 融 資 資 金	件 12	件 9	円 19,320,801	件 11	円 1,691,528	円 21,012,329
地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	16	11	5,234,593	15	986,285	6,220,878
八 十 二 銀 行	1	0	0	1	98,829	98,829
松 本 信 用 金 庫	1	1	550,000	1	46,657	596,657
合 計	30	21	25,105,394	28	2,823,299	27,928,693

(注1) 企業債借入総件数30件のうち、償還元金については9件が据置期間内であり、支払利息については2件が令和7年度以降支払いとなるため、当年度の支払いはありません。

5 附帯事項

該当なし

6 そ の 他

(1) 決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事実

該当なし

(2) そ の 他

該当なし

